

幼児教育・保育の充実

- 保育人材の確保および職場環境のさらなる改善により、保育の質の向上を図る

【提案・要望先】 こども家庭庁

1. 提案・要望内容

(1) 保育士等の職員配置基準の改善と更なる処遇改善の推進

- 保育士等の負担軽減と質の向上を図るための職員配置基準の改善（1歳児の職員配置基準の6対1から5対1を令和7年度当初実現）と安定的な財政措置
- 職員配置の改善に向けた人材確保および職場定着を図るための更なる処遇改善の実施

(2) 国による保育人材確保事業の実施

- 保育の仕事が「若者が憧れる仕事」になるような国としての魅力発信事業の実施

2. 提案・要望の理由

(1) 保育士等の職員配置基準の改善と更なる処遇改善の推進

- 待機児童の解消のほか、こども誰でも通園制度等、すべての子育て家庭を対象に保育が拡大し、保育の重要性が増すなか、より一層保育人材確保が急務。
- 保育士等が仕事に誇りを持って定着できるよう、その専門性や特殊性を勘案し、全産業平均の動向を注視しながら、一層の処遇改善が必要。
- 令和6年度からの実現が叶わなかった1歳児の職員配置基準の改善について、早期の実施が必要。また、最低基準として配置することとなる職員の財政措置について、加算ではなく、基本分単価により所要の経費を安定的に措置することが必要。

(2) 国による保育人材確保事業の実施

- 滋賀県でも保育人材確保の取組を進めているが、有効求人倍率が高水準で推移している状態が続いており、県内の保育士養成施設への入学者も減少傾向にある。
- 業務負担軽減のため、保育補助者の配置やICT導入等にかかる財政支援をしていますが、さらなる人材確保に向けては、保育士が「若者が憧れる仕事」になるような国としての魅力発信事業の実施が必要。

(本県の取組状況と課題)

(1) 保育士等の職員配置基準の改善と更なる処遇改善の推進

○ 1・2 歳児の保育士配置が 5:1 となるよう加配に要する経費を民間保育所等に県補助

○ 職種別平均賃金（役職者除く）（月収換算）

全産業 35.2 万円 > 保育士 30.3 万円（差額 4.9 万円）

（出典：全世代型社会保障構築会議（第 1 回）公的価格評価検討委員会（第 1 回）合同会議資料 4）

○ 日々、事故防止や安全確保、感染症対策に細心の注意を払いながら勤務を継続

(2) 国による保育人材確保事業の実施

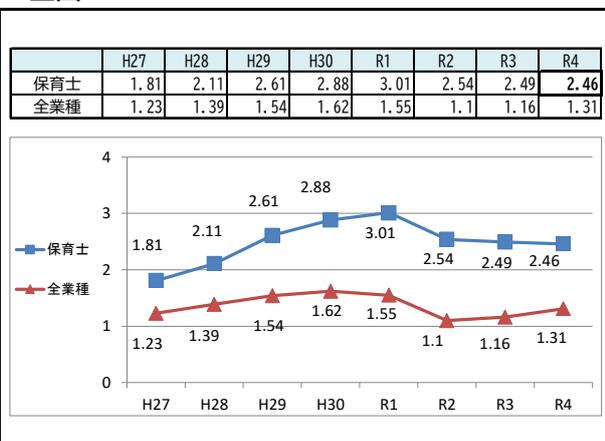
○ 本県でも、高校への保育の仕事出前講座などの保育の仕事の魅力発信事業や、就業継続支援、働きやすい職場環境づくりなど、保育人材確保の取組を進めている。

○ しかし、有効求人倍率が高水準で推移している状態が続いており、県内の保育士養成施設への入学者も減少傾向にある。

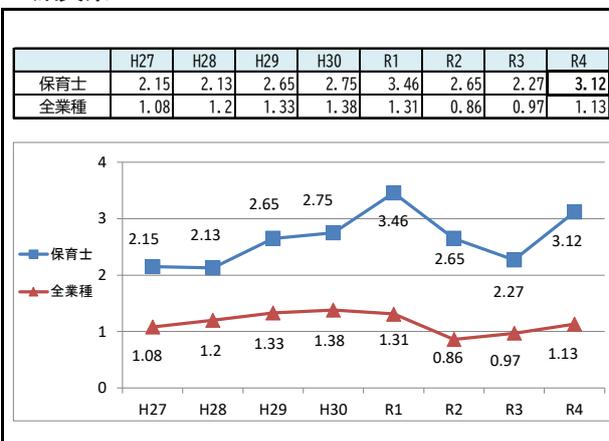
○ 加えて、こども誰でも通園制度の実施に伴う新たな業務も発生し、更なる人員配置が必要となることについて保育現場から不安の声を聞いている。

【保育士の有効求人倍率の状況（年度平均）】

■全国



■滋賀県



年度	入学定員	入学現員	入学率	学生定員	学生現員	現員率
R5	260	184	71%	730	627	86%
R4	260	244	94%	810	747	92%
R3	310	299	96%	890	795	89%
R2	340	331	97%	920	772	84%
H31	340	263	77%	940	734	78%

担当：子ども若者部子育て支援課保育係
TEL 077-528-3557